



Vision●は、政策提言ver2における5つの地域経営ビジョンを示します。
 (基本方針●)は、「加賀躍進プロジェクト」における7つの基本方針を示します。



成長戦略

Vision1 未来を切り開くイノベーションシティ



1 スマート加賀IoT推進事業 (基本方針3) 118,900千円 (P42)

- (1) **イノベーションセンター (人材育成拠点) 整備事業** 98,000千円
 IoT人材の育成・IoT事業化の活動拠点である「加賀市イノベーションセンター」(かが交流プラザさくら3階)の整備を行います。
- (2) **IoT実証事業** 20,000千円
 中小製造業分野や農業分野等において、生産性向上のためのセンサー設置など、IoT技術の導入・普及のための実証事業を行います。
- (3) **イノベーション推進検討事業** 900千円
 イノベーションを誘発する事業立案や実証事業を実施するため、学識者や関係団体による講演会や研修会などを開催します。

2 (新規) 産業団地整備等準備事業 (基本方針3) 7,500千円 (P47)

新たな産業団地の造成着手までに必要な業務(地域合意、地権者詳細調査、地質・埋設・地下水等調査等)を行います。

3 オープンデータカタログサイト運用事業 (基本方針7) 7,000千円 (P15)

市が所有するデータを「オープンデータ」として、公開するため構築したサイトを活用し、市民やベンチャー企業等によるデータ利活用の推進を図ります。



Vision2 人財を輩出し、人財が集う先端教育都市

4 (拡充) プログラミング教育推進事業 (基本方針1) 18,820千円 (P63)

小中学校におけるプログラミング教育の必修化に先駆け、指導の中核となる教員を育成するとともに、プログラミング教室等を実施し、プログラミング教育を行います。平成30年度からは、「IT部活」を立ち上げます。

5 (新規) 教育総合支援センター設置事業 (基本方針1) 22,885千円 (P64)

教育研究、教員研修、生徒指導を行う組織を一元化し、それぞれの機能を連携強化したうえで、学校教育にとって有効な施策を展開するために、「教育研究所」と「青少年育成センター」の機能を統合した「教育総合支援センター」を設置します。



6 家庭教育支援事業 (基本方針1) 750千円 (P65)

「家庭教育支援条例」に基づき、子どもに必要な生活習慣や社会のルールを身に着けるため、講演会や関係会議の開催、家庭教育支援を行う人材の養成などを行います。

7 教育交流活動事業 (基本方針2) 10,700千円 (P61)

台湾やシンガポールの児童生徒との教育交流を深めます。また、ロボレーブ世界大会へ児童生徒を派遣します。

成長戦略

Vision2 人財を輩出し、人財が集う先端教育都市



8 伝統工芸の担い手育成支援事業（基本方針3） 6,970千円

- (1) 九谷焼技能後継者奨励事業 200千円（P45）
市内の事業所で1年以上九谷焼の制作に従事し、引き続き九谷焼制作に携わる者に、奨励金を交付します。
- (2) 関西九谷焼展開催事業 2,100千円（P45）
集客力の高い都市部での展示会の開催を支援することにより、若手の育成や販路開拓、市内工芸品の情報発信を行います。
- (3) 伝統工芸等担い手販路開拓支援事業 600千円（P45）
伝統工芸等の若手従事者で構成されたグループが県外で開催する販売会、展示会にかかる経費の一部を助成します。
- (4) 伝統工芸等担い手工房借上支援事業 500千円（P46）
伝統工芸従事者が、市内で建物を借りて工房を開いた際の家賃の一部を助成します。
- (5) 山中伝統漆器後継者育成事業 3,570千円（P46）
山中漆器の技術を習得しようとする者に、技術習得にかかる経費の支援を行うことにより、自立を促進します。

9 スマート加賀IoT推進事業（基本方針3）（再掲） 66,900千円（P42）

- (1) IoT人材育成事業 66,900千円
大学等連携先との共同研究、経営者や技術者等に対するIoT講習の実施、IoT導入促進の啓発等を行います。また、ハッカソン、アイデアソン、ロボレーブ国際大会等を開催します。

Vision3 世界から選ばれる温泉共創地

1.0 海外都市交流・インバウンド推進事業（基本方針2） 52,454千円

- (1) 海外都市交流事業 13,000千円（P33）
台湾やシンガポールを始めとする海外の都市と更なる交流を深めるため、継続的な訪問及び招致を展開します。
- (2) インバウンド推進事業 11,000千円（P33）
海外からの誘客を促進するために、国際旅行博・物産展への出展や海外メディア等へのプロモーションを行うとともに、インバウンドセミナーの開催や外国人旅行客に対応できる人材の育成を行います。
- (3) 越前加賀インバウンド推進事業 21,254千円（P33）
越前加賀インバウンド推進機構（加賀市、あわら市、坂井市、勝山市、永平寺町）において、宗教文化や食・温泉・自然等の観光資源を結びつけた広域的旅行ルートを造成し、滞在型観光誘客を推進します。
- (4) 観光地Wi-Fi整備事業 7,200千円（P34）
外国人旅行客の利便性向上のために、三温泉地の観光拠点や主要通りにフリーWi-Fiの整備を行います。

1.1 （拡充）国内都市交流事業（基本方針2） 848千円

友好都市である新発田市（新潟県）との交流を行うとともに、平成30年度からは、平成18年度以降休止していた赤平市（北海道）との友好都市交流を再開します。

1.2 観光地ブランド化推進助成事業（基本方針2） 24,000千円

山代・山中・片山津の三温泉のブランド価値を高めるために、各温泉の観光協会が行う取組みに助成を行います。

成長戦略

Vision 3 世界から選ばれる温泉共創地

1.3 三温泉観光誘客助成事業 (基本方針2) 40,400千円

山代・山中・片山津の三温泉の魅力創出や情報発信、また、鉱泉源からの揚湯施設・源泉の維持管理に対して助成します。



1.4 都市圏戦略誘客推進事業 (基本方針2) 93,000千円

- (1) 加賀温泉郷誘客促進事業 20,000千円 (P35)
地域の魅力を高めながら都市圏への効果的なプロモーションを展開し、加賀温泉郷への誘客を促進します。
- (2) 加賀温泉郷DMOによる温泉旅館雇用促進プロジェクト事業 20,000千円 (P35)
市内宿泊事業者参画のもと、「加賀温泉郷経営塾」の運営、勉強会、研修会の開催、就労に伴う住環境整備の検討等を行います。また、観光客の詳細な動向・動態データを把握し、地域観光マネジメントの推進を図ります。
- (3) 都市圏戦略プロモーション事業 20,000千円 (P36)
加賀温泉郷への観光誘客を促進するため、都市圏への戦略的な事業を集中的に展開します。
- (4) 旅行商品企画販売促進PR事業 15,000千円 (P36)
加賀温泉郷の旅行商品化に向け、旅行業者へのトップセールスを行うとともに、送客機関とのタイアップによる旅行商品の企画造成による誘客促進を図ります。
- (5) 加賀温泉郷情報発信事業 10,000千円 (P37)
加賀温泉郷全体の情報発信と誘客活動（メディア、インターネットを活用した宣伝、情報発信、「かがやき大使」によるPR等）を総合的に行います。
- (6) 東京2023加賀プロジェクト事業 8,000千円 (P37)
北陸新幹線の加賀温泉駅開業をテーマとした動画やポスター等を作成し、プロモーション活動を展開します。



1.5 柴山瀧遊歩観光ルートプロジェクト (基本方針2) 159,600千円

柴山瀧の自然、眺望景観、歴史文化を重要な観光資源と位置付け、温泉地、旧跡、柴山瀧湖畔をつなぎ、まちと水辺を巡る散策ルートの整備を行います。

- (1) (拡充) 柴山瀧周辺整備事業 152,500千円 (P54)
柴山瀧の湖畔と温泉街をつなぎ眺望景観を楽しめるまちづくりのため、柴山瀧周辺の湖岸遊歩道や視点場の整備、修景緑化等の整備を行います。
- (2) 柴山瀧湖岸遊歩道周遊ルート検討事業 1,900千円 (P55)
源平橋から八日市川河口付近までの一部区間について、遊歩道の周遊ルートの調査及び工法の比較検討を行います。平成30年度は、自然環境調査を行います。
- (3) 手塚山公園等再整備事業 5,200千円 (P55)
片山津ICからのゲートウェイとして重要な位置にある手塚山公園を柴山瀧周遊ルートと関連付け、再整備のために実施設計を行います。



1.6 ガーデンシティ構想推進事業 (基本方針2) 9,340千円 (P53)

花や緑あふれる魅力ある観光都市を目指し、ガーデンシティ構想に基づき、交通の拠点や温泉街等において、景観まちづくりを進めるため、花飾り講習会の実施、ガーデンシティ推進団体への支援、構想推進イメージ図の作成等を行います。

成長戦略

Vision 3 世界から選ばれる温泉共創地

1.7 加賀温泉駅周辺施設整備事業 (基本方針6) 10,193千円

平成34年度末の開業に向け、加賀温泉駅周辺の整備を進めます。

- (1) 加賀温泉駅都市施設整備検討事業 810千円 (P52)
平成28年度策定の「加賀温泉駅周辺施設整備基本計画」に基づき整備する都市施設の具体的内容、運営方針等を協議・検討します。
- (2) (新規) 加賀温泉駅周辺地区都市再生整備計画策定事業 1,141千円 (P52)
加賀温泉駅前周辺の賑わい創出に向け、駅前の交通施設や周辺都市施設の強化・充実を図るため「加賀温泉駅周辺地区都市再生整備計画」を策定します。
- (3) (新規) ガレリア等補償費算定事業 1,242千円 (P52)
新幹線駅舎工事に支障となるガレリア、コロネードの補償費の算定を行います。
- (4) (新規) 加賀温泉駅駐輪場移設事業 7,000千円 (P52)
加賀温泉駅北側のJR敷地内にある市駐輪場が在来線駅舎工事の支障となることから、既存駐輪場を撤去し、新たな駐輪場を設置します。



Vision 4 人生100年時代に備えるまち

1.8 奨学金事業 (基本方針3) 17,978千円

- (1) 三森良二郎奨学金支給事業 7,440千円
経済的に大学就学困難な学術優秀者への無償支給を行います。新規募集10人中、5人は卒業後の加賀市へ一定期間在住を条件とします。
- (2) 奨学資金奨学金支給事業 1,518千円
経済的に高校就学困難な学術優秀者への無償支給を行います。新規募集は、市内高校への進学を条件とします。
- (3) 育英資金貸与事業 9,020千円
経済的に就学困難な学生へ無利子で貸与を行います。



Vision 5 先進政策・実証都市

1.9 かがく宇かんプロジェクト事業 (基本方針1) 5,900千円 (P60)

中谷宇吉郎の研究領域である「自然科学」と、造詣が深かった「芸術」をテーマとした研究教育事業を推進し、市民の豊かな教養の醸成と子どもたちの科学に対する関心の高揚を図ります。

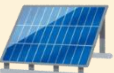


2.0 (新規) エネルギーマネジメント推進事業 (基本方針6) 10,000千円 (P56)

上水道の配水施設等を利用した地域資源である再生可能エネルギーの調査を行い、それらの地域資源エネルギーを地産地消という形で循環させるマネジメントシステムの構築に係る調査を行います。

2.1 (拡充) 住宅用太陽光発電・蓄電池設置助成事業 (基本方針6) 800千円 (P48)

再生可能エネルギーの利用促進のため、住宅用太陽光発電の導入助成や蓄電池の購入助成を行います。



2.2 (新規) 業務効率化に向けたRPA導入事業 (基本方針7) 14,300千円 (P15)

IT技術を活用して、定型的な事務を自動化し、効率化を図るために、RPA(業務の自動化)を県内で初めて導入します。

その他の事業

2.3 教育環境の充実（小中学校の整備）（基本方針1）

小中学校における快適な教育環境の充実に向け、普通教室等の冷房化、トイレの洋式化、屋外グラウンドの整備などを行います。



- (1) 小学校普通教室等冷房化事業 134,416千円
(片山津小工事、動橋小設計)
- (2) 小学校トイレ洋式化整備事業 584千円
(分校小、南郷小設計)
- (3) (新規) 橋立小学校体育館非構造部材耐震化事業 15,700千円
橋立小学校体育館の天井の耐震化を行います。
- (4) (新規) 動橋小学校屋外グラウンド整備事業 3,200千円

100m走に支障があるほど手狭で、水はけが悪くなったグラウンドにおいて隣接地を取得することにより拡張するとともに、暗渠排水の設置、駐車場の整備を含めたグラウンドを改修するための実施設計を行います。

- (5) 中学校普通教室等冷房化事業 243,300千円
(山中中工事)

- (6) 中学校トイレ洋式化整備事業 33,600千円
(山代中、片山津中、山中中、東和中工事)

- (7) (新規) 東和中学校老朽化対策事業 6,000千円

老朽化した校舎の耐力度調査及び基本設計を行い、今後行う改修工事の手法（改築（新築）、大規模改修、長寿命化）を検討します。

- (8) (新規) 東和中学校屋外グラウンド改修事業 5,300千円

北陸新幹線線路建設に伴い、隣接するグラウンドの野球・ソフトボールのバックネットの位置を変更するとともに、グラウンドの水はけ等を改善するための実施設計を行います。

2.4 (拡充) 小中学生補充学習推進事業（基本方針1） 6,100千円 (P62)

算数、数学、英語に苦手意識のある児童生徒に対して、退職教員等の協力を得て、学習の支援を行います。



2.5 加賀温泉郷マラソン推進事業（基本方針1） 36,900千円 (P66)

- (1) 加賀温泉郷マラソン開催助成事業 29,900千円

加賀温泉郷を巡る周回コースでのマラソン大会を開催します。

- (2) 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催助成事業 7,000千円

間寛平氏がプロデュースする、ナイトマラソン大会を、山中温泉地区及び東谷地区を中心に開催します。



2.6 海外オリンピック選手事前合宿誘致事業（基本方針1） 1,000千円

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿地として、選定を受けるため、選手を派遣する国地域に対して誘致活動を実施します。



2.7 石川県九谷焼美術館駐車場広場整備事業（基本方針2） 83,800千円

九谷焼美術館の隣接地において、駐車場広場を整備することで、観光客の利便性の向上を図ります。

2.8 海外輸出促進事業（基本方針3） 2,500千円

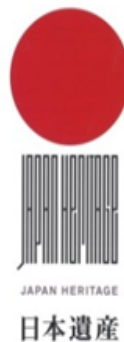
平成28年10月に設立した「加賀市貿易推進機構」を通じて、海外への輸出を検討している市内事業者への支援を行います。

将来への備え

Vision 3 世界から選ばれる温泉共創地

2.9 北前船日本遺産活用事業 (基本方針6) 33,263千円

- (1) (拡充) 北前船日本遺産推進事業 2,279千円 (P38)
「北前船ストーリー」の日本遺産認定により、広域連携で、情報発信、環境整備を行い、「北前船」のブランド化を推進します。
- (2) (新規) 北前船日本遺産認定記念特別展開催事業 4,682千円 (P38)
「北前船ストーリー」の日本遺産認定により、北前船による九谷焼運搬の痕跡を紹介する特別展を石川県九谷焼美術館と北前船の里資料館で共同開催します。
- (3) 北前船の里資料館整備事業 22,100千円 (P39)
北前船の里資料館は開館後34年が経過し、老朽化が見られるため、板塀等の保存修理を行います。平成30年度は東面板塀の修景と塀の修理を行います。
- (4) (新規) 北前船の里魅力再生整備基本計画策定事業 3,000千円 (P39)
北前船の里資料館を中心とした、地区の再整備を行い、観光・地域振興を図るための基本計画を策定します。
- (5) (新規) 旧酒谷長兵衛家住宅(北前船の里資料館)重要文化財指定調査事業 1,202千円 (P39)
現存する北前船主屋敷として最大規模である旧酒谷長兵衛家住宅の国の重要文化財指定を受けるための調査を行います。



3.0 (新規) 歴史的風致維持向上計画策定事業 (基本方針6) 3,300千円

歴史的建造物やその周辺市街地と、地域の歴史・伝統を反映した人々の営みが一体となった歴史的風致の維持向上を図るため、「歴史的風致維持向上計画」を策定します。

3.1 (新規) (仮称) あいうえおの郷構想推進事業 (基本方針6) 4,000千円 (P40)

山代温泉にゆかりのある「五十音図の創始者・明覚上人」を柱とした日本語文化事業の実施・展開により、文化振興及び加賀温泉郷の知名度やブランド力の向上を図ります。



3.2 (拡充) 空家等対策推進事業 (基本方針6) 8,060千円 (P49)

空家等対策計画に基づき、危険な空き家に対する除去等の助言・指導・勧告・命令を行うとともに、必要に応じて解体等の代執行等を行います。
平成30年度からは、危険空家の所有者等に対し解体費を一部助成します。また、放置旅館等の具体的な対策に係る計画を策定します。

3.3 (拡充) 文化的景観保存調査事業 (基本方針6) 6,700千円

「加賀海岸」の文化的価値の調査、保存及び活用を図り、文化庁の定める「重要文化的景観」の選定を目指します。平成30年度は、文化的景観の活用に向けた調査などを行います。

3.4 大聖寺十万石城下町史蹟再生関連事業 (基本方針6) 1,012千円

- (1) (新規) 旧新家住宅活用基本計画策定事業 1,000千円 (P41)
市指定文化財「旧新家住宅」の別邸である鴻玉荘(こうぎょくそう)等の活用方法と保存整備方針をまとめた基本計画を策定します。
- (2) 大聖寺十万石城下町史蹟再生事業 12千円 (P41)
大聖寺地区の各種団体の代表及び有識者を集め、文化遺産や自然遺産の整備の推進に向けた協議会を開催します。



3.5 (新規) 旧よしのや依緑園別荘整備事業 (基本方針6) 1,000千円 (P58)

山中商工会など地元から出される活用案を踏まえ、文化観光施設としての一般開放に向けた環境管理に努めるとともに、建物等の整備を行います。平成30年度は、客殿屋根等の応急修繕を行います。

将来への備え

Vision4 人生100年時代に備えるまち



かがっこ応援プロジェクト

36 (新規) 医療的ケア児支援事業 (基本方針1) 1,040千円 (P27)

医療的ケアを必要とする児童が、訪問看護等を受けながら保育園で生活することができる体制を確保します。

37 (拡充) 妊産婦・乳児健康診査委託事業 (基本方針1) 51,880千円 (P27)

出産予定日までの14回分の健診費用の助成に加えて、平成30年度からは、出産までに必要な健診回数分を助成します。

38 (新規) 妊婦歯科健康診査事業 (基本方針1) 640千円 (P27)

妊婦を対象に、歯科健康診査費用を助成します。



39 子ども未来基金活用事業 (基本方針1) 450千円 (P28)

平成29年度に設置した子ども未来基金を活用し、子どもの貧困対策として、「教育」、「生活」、「就労」、「経済」の4つの視点から支援を行う民間団体の活動に助成します。

40 (新規) (仮称) 片山津地区保育園建設事業 (基本方針1) 21,000千円 (P28)

片山津中学校区区の3保育園(金明・湖北・潮津)を再編し、新たな保育園を整備するための実施設計を行います。

41 (拡充) 準要保護児童生徒援助事業 (基本方針1) 63,708千円 (P28)

経済的理由により就学困難な準要保護児童生徒に係る学用品・給食・通学用品・修学旅行費等を助成します。平成30年度からは、中学生の修学旅行費の助成単価を35千円/人(定額)から62千円/人(実費平均額)に上げます。



42 (拡充) 多子世帯等児童生徒給食助成事業 (基本方針1) 49,700千円 (P28)

18歳未満の児童生徒が3人以上いる世帯の第3子以降の児童生徒の給食費を無料とすることに加え、平成30年度からは、第1子が中学生の場合、第2子の児童生徒の給食費についても県内の市で初めて無料とします。

43 中央公園遊具整備事業 (基本方針1) 40,000千円 (P29)

中央公園の「おとぎの国親水広場」をリニューアルします。



44 公園遊具更新事業 (基本方針1) 45,600千円 (P29)

「公園長寿命化計画」に基づき、都市公園9か所について、地域住民の安全と遊び場・交流スペース確保のため遊具の更新等を行います。

45 (拡充) 母子家庭等自立支援事業 (基本方針5) 6,802千円 (P29)

ひとり親家庭に対し、就職に有利な資格の取得や、修学や疾病時の子どもの預かり等の支援を行うことにより、就業及び自立の促進を図ります。

将来への備え

Vision4 人生100年時代に備えるまち

4.6 子どもの命を大切にす啓発事業（基本方針1） 620千円

「お腹の赤ちゃんを大切にす加賀市生命尊重の日条例」に基づき、講演会の開催や中学校への講師派遣等による啓発活動を行います。

4.7 （新規）スマートインクルージョン推進事業（基本方針4） 6,000千円（P25）

障がいのある人もない人も、すべての人が住みやすい社会の実現を図るため、AIやIoT等の最新技術を活用し、障がいのある人のサポートと社会参加を進めるスマートインクルージョンを推進します。平成30年度は、構想・実行計画の策定や障がい者支援情報システム構築のための調査を行います。

4.8 KAGA健食健歩プロジェクト（基本方針4） 269,106千円

(1) 健康づくり事業 10,162千円（国民健康保険特別会計を含む。）（P31）

ウォーキングやラジオ体操の推進、「KAGAタニタ健康プログラム」の活用などにより、市民が健康づくりに関心を持ち、食と運動面から健康づくりに取り組む機運を高めま

(2) ウォーキング教室開催事業 144千円（P31）

KAGA健康フェスタに併せて、ノルディックウォークの指導員からの指導を受けながら、加賀市スポーツ推進員の協力を得て、ノルディックウォーキング教室を開催します。

(3) （仮称）橋立自然公園健康グリーンパーク整備事業 258,800千円（P67）

市民の健康づくりの拠点施設として、芝広場、駐車場、緑地等からなる「（仮称）橋立自然公園健康グリーンパーク」を整備します。（供用開始予定 平成31年度）



4.9 （拡充）若者等就労支援事業（基本方針5） 48,172千円（P24）

生活困窮者や若年無業者に対して就労の相談や支援を行うとともに、都市部の若者等を受け入れるためのサポート拠点を設置し、農業や観光分野での就労体験を引き続き実施する。

5.0 移住・交流推進事業（基本方針5） 81,900千円

(1) 「地域おこし協力隊」受入推進等事業 11,900千円（P17）

都市部からの転入者を「地域おこし協力隊」として委嘱し、地域活動を行っていただきながら市内への定住・定着を図ります。

(2) 加賀市空き家バンク登録申請物件調査事業 150千円（P17）

空き家バンクに登録するための中古物件の調査を行い、データベースの作成を行います。

(3) （拡充）移住住宅取得助成事業 39,850千円（P18）

市外から転入し、住宅の新築または中古物件の購入に伴う費用に対し、70万円（50%以内）を基本額として、子ども一人につき20万円を加算するとともに、地元業者による施工の場合は30万円、また、平成30年度より三世帯同居・近居の場合も30万円を加算し、助成します。

※最大215万円（子ども3人世帯の場合）の助成（県内最高額）

(4) （新規）若年層定住住宅取得助成事業 30,000千円（P18）

子育て世代である45歳未満の若年層の市内在住者の住宅の新築・購入の費用に対し、新築は30万円を、購入は10万円を基本額とし、35歳未満の特に若い世代については、10万円を加算します。また、子ども一人につき10万円を加算するとともに、地元業者による施工の場合は10万円、三世帯同居・近居の場合も10万円を加算し、助成します。

※最大120万円（子ども3人世帯の場合）の助成（県内最高額）



将来への備え

Vision4 人生100年時代に備えるまち

5.1 プラス・カガ推進事業（基本方針5） 78,960千円



(1) ローカルベンチャー育成事業

65,960千円（P19）

起業に意欲のある都市部の若者を対象に、地域おこし協力隊の制度を活用し、本市の魅力を活かした起業支援を行い、本市への移住を促進します。

(2) 加賀市定住促進事業

9,000千円（P19）

本市への新しい人の流れをつくることを目的に、コンシェルジュ（総合相談）の設置、お試し居住の実施、移住希望者への情報発信を強化します。

(3) 大学生の若者目線による加賀市の魅力発見・発掘事業

4,000千円（P20）

首都圏の大学生や市内の高校生等を対象とした新しい地方の豊かな未来を描くワークショップを開催することで、本市への移住・定住の促進につなげます。

5.2 加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業（基本方針5） 37,000千円（P21）

平成28年度に策定した加賀市版「生涯活躍のまち」構想に基づき、元気な中高年齢者や地域づくりの担い手となる若い世代の移住・定住の促進を図るとともに、「健康・医療・福祉・介護分野」のスキルやアイデアを持った企業、研究機関、個人の招致に向けた取り組みを行います

その他の事業



5.3 （拡充）手話施策推進事業（基本方針4） 3,204千円（P26）

「手話言語条例」を根拠に策定した手話施策推進方針に基づき、手話への理解の促進と普及啓発、手話の使いやすい環境づくり、手話での意思疎通の支援を図ります。

5.4 防災力の強化事業（基本方針5） 143,220千円

(1) 総合防災訓練開催事業

900千円（P13）

市と防災関連機関が協働し、市民全体の総合的な防災訓練を市内複数の会場で開催します。

(2) 防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業

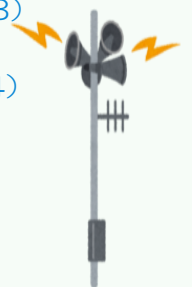
140,100千円（P13）

屋外受信拡声器・移動系中継局等を整備します。

(3) 防災活動推進事業

2,220千円（P14）

備蓄用の食糧、備品等の購入や防災士の養成等を行います。



5.5 湖北地区会館整備事業（基本方針5） 61,000千円

湖北地区会館（昭和61年築）の大規模改修を行います。

5.6 消防力の強化事業（基本方針5） 203,400千円

(1) 片山津分署耐震改修事業

108,900千円（P59）

片山津分署の耐震補強及び大規模改修を行います。

(2) （新規）山中分署改修事業

6,500千円（P59）

山中分署の仮眠室の個室化等の改修を行います。

(3) 消防ポンプ自動車整備事業

56,242千円（P59）

山中分署の水槽付消防ポンプ自動車、三木分団の消防ポンプ自動車の更新を行います。

(4) 救急自動車整備事業

31,758千円（P59）

大聖寺分署の救急自動車の更新を行います。



将来への備え

その他の事業



57 地域交通対策事業（基本方針6） 92,600千円

- (1) KAGAあんしんネット推進事業 82,414千円（P16）
全市域を対象とした乗合タクシーの運行、生活バス路線、キャンバスの運行を行います。
- (2) その他の事業 10,186千円（P16）
キャンバス停留所に係る費用を負担し、生活バス路線の利用促進を図ります

58（新規）環境美化センター焼却施設大規模改修事業（基本方針6） 14,600千円

環境美化センターの老朽化に伴う大規模改修のために必要な「加賀ごみ処理施設基幹的設備改良計画」を策定し、「加賀ごみ処理施設基幹整備改良実施設計」を行います。

59 市道A第60号線（松島橋）整備事業（基本方針6） 47,200千円

通学路・避難経路である松島橋（大聖寺上福田町地内）を架け替えるとともに、橋両側の取付部の拡幅整備を行います。（供用開始予定 平成34年度）

60（新規）市道C第73号線道路改良事業（基本方針6） 24,000千円（P50）

深田町、宮町から主要地方道小松加賀線への接続道路である市道C第73号線（宮町・田尻町地内）の拡幅及び整備を行います。（供用開始予定 平成33年度）

61 市道D第190号線こおろぎ橋架替整備事業（基本方針6） 150,200千円（P51）

総ヒノキづくりの木橋であるこおろぎ橋（山中温泉こおろぎ町）の老朽化に伴う架け替え工事を行います。（供用開始予定 平成32年度）



62 都市計画道路合河片山津線整備事業（基本方針6） 105,000千円

片山津温泉1区の市道の屈曲部を解消するため、道路改良を行います。（供用開始 平成32年度）

63 都市計画マスタープラン改定事業（基本方針6） 10,200千円

加賀温泉駅周辺の土地利用見直し等に伴い、コンパクトシティの形成に向け、平成23年4月に策定した「都市計画マスタープラン」を改定します。

64 市営住宅整備事業（基本方針6） 131,500千円

市営住宅基本計画に基づき、動橋地区の市営住宅の集約を図るため、動橋住宅の建替えを行います。平成30年度は、4棟（8戸）を整備します。

65（新規）上下水道維持管理等業務委託事業（基本方針6） 10,242千円（P57）

上下水道事業の安定的な運営のため、上下水道の管路修繕と給水装置、排水設備の受付等の業務について民間委託を行います。

66（新規）下水道事業ストックマネジメント基本計画策定事業（基本方針6）

19,000千円

片山津処理区の施設（管路・ポンプ場など）の老朽化に対する改修を行うために、効果的な維持管理計画を策定します。

新規事業（28件 245,474千円）
拡充事業（15件 459,423千円）
（P）：別冊「予算説明会資料」のページ